

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：竹山 広美 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	（学術論文） 成人・老年期がん患者のがん 体験の意味づけに関する看護 師の認識プロセス—がん看護 専門看護師・緩和ケア認定看 護師に焦点をあてて— 《筆頭論文》	共	2024.12	ヒューマンケア研 究学会誌, 15(1), 14- 21.	成人・老年期がん患者のがん体験を意味づける看護師の支援について、がん看護専門看護師 6 名、緩和ケア認定看護師 16 名に半構造化面接を行い、M-GTA で分析した。結果、看護師は、【患者の生活と医療（者）との関係】、その関わりを通して【患者の心理的な平穏】を重要視し、そのうえで、【患者のエンパワメント】を引き出すことを大切にしていた。 （総ページ数：8 ページ） 担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（ <u>竹山広美</u> ，鈴木千絵子）
2	（学術論文） 成人・老年期がん患者のがん 体験の意味づけに関する文献 レビュー 《筆頭論文》	共	2024.3	広島国際大学看護 学 ジャーナル， 20(1), 3-11.	成人・老年期がん患者のがん体験の意味づけに関する 20 文献をレビューの対象とした分析した結果、患者のがん体験の意味づけの影響要因には【現状認識・受けとめ】【身体・心理状態】【周囲の存在・関係性・支援】などがあった。 （総ページ数：9 ページ） 担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（ <u>竹山広美</u> ，鈴木千絵子）
3	（学術論文） 患者の病いの体験の意味づけ に関する文献レビュー 《筆頭論文》	共	2021.3	姫路大学大学院看 護学研究科論究， 71-80.	がん患者の病いの体験の意味づけは、＜これからの生き方を見出す＞＜自分らしく生きたい＞など 6 つに分類された。ALS 患者など非がん患者の病いの体験の意味づけは、＜病いとの向き合い方を見出す＞＜病いとの生活を見出す＞など 4 つに分類された。 （総ページ数：10 ページ） 担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（ <u>竹山広美</u> ，掛橋千賀子）
4	（報告・発表） 成人・老年期がん患者ががん 体験を意味づける看護支援 （第 2 報）—がん体験の意味 づけを支援する専門看護師や 認定看護師の実践—	共	2026.2	第 40 回日本がん看 護学会学術集会プ ログラム集, 86.	成人・老年期がん患者のがん体験を意味づける看護師の支援について、がん看護専門看護師 6 名、緩和ケア認定看護師 16 名に半構造化面接を行い、M-GTA で分析した。結果、成人・老年期がん患者のがん体験の意味づけを支援する看護師は、《患者の身体的苦痛を緩和し選択したことを調整する》、《信頼を得て患者の日常を整える》、《患者自身に自分の力を気づかせる》ように支援していた。 担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（ <u>竹山広美</u> ，鈴木千絵子）

2026 年 4 月 15 日現在